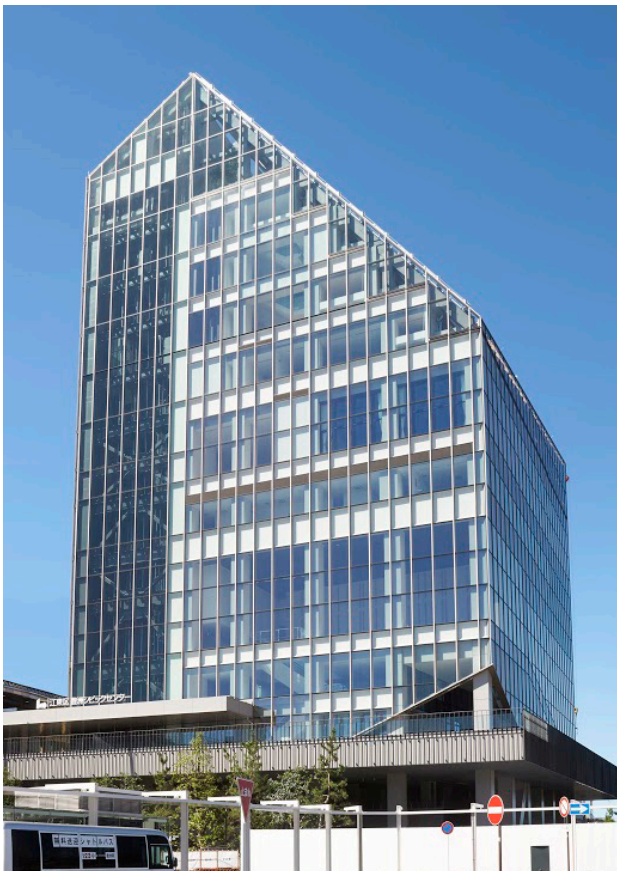


クローズアップ



建物外観

豊洲シビックセンター

近藤 雄哉

(Yuya Kondou)

フジテック株式会社

西営業技術部

2. 建物概要

所在地：東京都江東区豊洲二丁目2番

建築主：東京都江東区

設計・監理：株式会社 日建設計

施工：鴻池・多田・増建設共同企業体

建築用途：公共施設

延床面積：15,537.72㎡

構造：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）

階床数：地下1階、地上12階

工期：2014年2月～2015年7月

開業日：2015年9月

3. 昇降機設備

昇降機設備は、乗用エレベーター5台（内1台は非常用）、人荷用エレベーター1台、エスカレーター6台が設置されています。

乗用エレベーターのうち3台は展望用となっており、かご背面に大きく設置されたガラスにより開放的な空間を演出するとともに、豊洲の街並みを一望することができます。また、かご内の手摺は木製を採用し、床には乗場と同様のフローリング材を施すことで、乗場との一体感を出すと同時に建物のコンセプトとの調和が図られています。

光が多く差し込む乗場には白色を基調としたシンプルな意匠が採用されました。また、扉に設けられた大型の防犯窓からガラス張りの昇降路の光も取り込み、訪れる方を明るく迎え入れます。

エスカレーターには自動運転装置が設けられ、欄干照明にはLEDを採用し、スイッチで点灯、消灯を切り替えることもでき、省エネルギー化を図っています。

1. はじめに

東京都江東区の臨海部に位置する豊洲地区は、2020年の東京オリンピック選手村（晴海地区）や競技施設群（有明地区）の予定地に隣接し、また築地市場移転や再開発事業・交通網の整備など、今後も様々なプロジェクトが予定されている注目のエリアです。

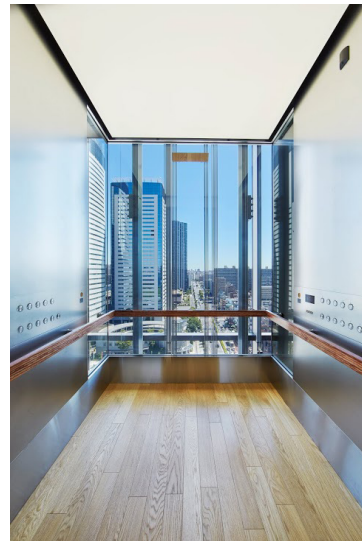
本建物は江東区南部地域の人口増加に対応すべく既存の区役所出張所、豊洲図書館、文化センターを改築することにより住民サービスの向上を図るとともに、オリンピックを見据えた豊洲地域の玄関口のシンボルとなる建物として計画されました。

江東区のビジョンである「City-In-The-Green」（緑の中の都市）に基づき、設計のコンセプトは自然と人々の活動が一体となった「現代の里山」として立体的な緑化空間の採用、地場産業である木材の利用、ガラス張りで透明性の高い外装、東京湾への眺望を重視した建物軸の設定、緑の連続性、公開空地への光を届ける形にも配慮された特徴ある形状となっています。

クローズアップ



展望用エレベーター乗場



展望用エレベーターかご内



展望用エレベーターかご内



展望用エレベーター乗場

エレベーター仕様 (計 6 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考		
EV1	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1,400	21	120	1	11 (1 ~ 11)	フジテック	兼展望用・車いす仕様		
EV2				1,400	21	120	1	11 (1 ~ 11)		〃		
EV3				1,400	21	120	1	13 (B1, 1 ~ 12)		〃		
EV4			〃	〃	乗合全自動方式	1,000	15	60		1	3 (9 ~ 11)	車椅子仕様
EV5			〃	〃	乗合全自動方式	1,150	17	120		1	13 (B1, 1 ~ 12)	兼非常用
EV6			人荷用	〃	乗合全自動方式	3,950	60	60		1	7 (B1, 1 ~ 4, 6, 7)	

エスカレーター仕様 (計 6 台)

号機	型式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC1, 2	S600 型	透明ガラス (欄干照明付)	30	1 ~ 3 階	9,200	2	東芝	屋外型、自動運転仕様
ESC3, 4	〃	〃	〃	3 ~ 4 階	4,200	2		傾斜角度 35 度、自動運転仕様
ESC5, 6	〃	〃	〃	4 ~ 5 階	4,200	2		〃